

エーミング設備導入と分解整備認証取得により、義務化が始まる自動ブレーキの検査が可能に



新井電機株式会社

📍 新潟県上越市石橋2-1-17

☎ 025-543-3478

🌐 <https://www.arai-denki.biz/>

■ 自動車整備業

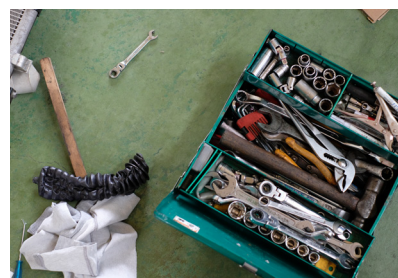


会社WEBサイト

私たちについて

車の電装化と共に、上越地域での地位を確立

1949年、車のバッテリー製造販売業として創業。バッテリーの交換やリサイクルを中心に事業運営をしていたが、それだけでは経営が成り立たなくなってきたことから、他の電装品の販売修理業にも参入。カーエアコンやラジオ、オーディオ、ETCやナビゲーションの販売修理も行うようになった。扱う電装品が増えると流通の多い仙台～大阪間のトラックの電装品修理も対応するようになり、口コミで評判が広がっていった。新井電機はこのように年々進化する車の電装品に対応することで、地域の整備工場やディーラー、個人客から電装品整備の仕事を引き受けてきた。



きっかけ

自動ブレーキ義務化に向け、必要装備をいち早く導入したい

現在、自動車業界は大きな変革を迎えている。2021年からは新型車への自動ブレーキ搭載の義務化が始まり、電装品によって自動車の制御がますます進んでいく。その中で、電装品を販売修理する会社にも電装品の動作チェックなど新たな対応が求められている。自動ブレーキ搭載車にはカメラやセンサーが搭載されるため、



車検時には対象物との距離を測る専用ボードやレーザーなどの設備が必要となる。しかし、設備は高額でまだ距離の測定とズレを自動で行える「エーミング作業」に手を出している県内企業はなかった。そこで、「他企業の見本になれば」と先陣を切って導入を決めたのが新潟県自動車電装品整備商工組合の理事長でもある新井氏。近い将来必要になるエーミング作業を先駆けて導入しようと実施に踏み切った。



取組の内容

エーミング作業のため、設備導入と認証取得を進める

センサーを使ってカメラやバンパーから対象物の距離を測り、ズレを修正する

「エーミング作業」。これを実現するため、ものづくり補助金を活用し、エーミング作業で使う距離を測るエーミングツール、分解整備の認証を得るために必要な排ガス測定器やフロンガス回収再生充填装置を含む、計8項目の機械を導入。合わせて、自動車修理には自動車本体の解体も伴うため、分解整備の認証も取得した。これまでは整備工場で分解整備をした後に、電装品工場で電装品整備、ディーラーでエーミングと工数も多く、金額も上がってしまっていたが、各種ツール導入後は各社に移送する輸送時間が削減、整備工場やエンドユーザーに対する販売価格も10,000円ほど下げられるようになった。



その後の展開

精度の高いボードを導入し、優位性を確立したい

各種機械導入と認証取得を終えると、付き合いのあった整備工場やディーラーへDMを送付。多くの企業から連絡をもらい、エーミング作業を依頼されるようになった。ディーラーを始め、各社はエーミング作業で使う設備自体を持っていた。しかし、メーカー・車種ごとの専用ボードを持っておらず、紙で作られた精度が甘いボードを使用していたのだ。今回新井電機が購入したのは、計13種類の専用ボード。この一式を所有する企業は県内に2社しかおらず、さらに需要が高まることが予想される。今後は商圏としている柏崎市、上越市、糸魚川市でエーミング作業に対応できる企業としての認知を高めながら、新たな顧客開拓を目指していく。

message

分解整備の認証も取得しましたが、あくまでエーミング作業のため。今後は整備工場やディーラーと協力しながらエーミング作業に特化した事業展開をできればと思っています。

代表取締役社長 新井 康祐氏

